

③ 川床には1 mを越える大きな巨レキがゴロゴロしている。

④ 水の流れは速く、音を立てて流れている。

山水橋から観察される荒川は川の上流にあたり、流れの速さ、川岸のがけが川にせまっているようす、川床には大きなレキが散在し、流れの急な所では川床に岩盤が見られる。これらの上流の特徴を観察の観点としてとらえたい。

荒川は下流で合流し、須川となり阿武隈川に流れ込んでいます。八木田橋近くの須川での川原のレキの資料（三河台小学校）と比較することにより、流水のはたらきをいっそう理解させられます。



## 中野小学校

### 1、地層の観察

#### (1) 観察する場所

中野不動尊近くの堰場消防団ポンプ置場の道路わきのがけ

(2) がけから離れて地層全体を観察する。

① 自動車に注意し、がけの全体が見通せる所に立って、がけの全景をスケッチする。

② 地層の重なり方、層理がよく発達しているかどうか、地層の厚さや色、地層の傾斜など気付いたことを書き入れる。

